



広報

すみだ

8

No539

攻め



そして守る



8/21 県小学生バレーボール選抜選手権大会
(関連記事12ページ)

8月の主な内容

- P 2 住田高校統合関連
- P 5 まちづくり情報
- P 8 まちの話題「東西南北」
- P 11 事務事業の収支決算
- P 4 成人式
- P 6 住田町夏まつり
- P 10 情報キャッチボール
- P 12 スポーツコーナー

計画案の見直しで存続を！ 住田高校

県教育委員会は八月三日、県立高等学校新整備計画の後期計画案（平成十七～二十一年度）を公表し、この中で平成二十年度をもって住田高校を高田高校に統合することを明らかにしました。町内に唯一の高等学校がなぜ統合されなければならないのか、今後どうなるのかをまとめました。

§ 1 なぜ統合か？

県教委が今年一月に策定した新整備計画（後期計画）のマスタープランでは、適正な学校の規模を、一学年四、八学級程度としています。これは県教委が検討してきた結果、活力ある教育環境として適正な学校規模と判断したことによります。現在、住田高校は一学年二学級です。また同プランでは「生徒数が定員を満たしていない学校にあつては、その在り方について統合も含め検討」することにしています。ここ四年間の住高の入学人数を見ると、表1のとおり毎年定員割れの状態が続いています。

このほか、町内二つの中学校からの住高への進学率を見ると、表2のとおり、過去四年間で平均四〇％ほどと、決して高い割合とはいえません。表向きはこのような現状から統合という方向性を打ち出したと思われませんが、その背景にあるのは厳しい県の財政状況であることは想像に難くありません。

§ 2 21年にはどうなる？

仮に今回発表された計画案がそのまま成案化され、平成二十一年度から住高がなくなつたらどうなるでしょうか。もちろん、町内には高校はなくなり、本町の高校生は、自宅から通うとすると近隣の市まで毎日通学しなければなりません。その際の時間と経費をまとめました。

表1 - 住田高校への過去4年間の入学者数

年度	入学者数	対定員
H13	68人	12人
H14	55人	25人
H15	75人	5人
H16	59人	21人

定員は80人

表2 - 地元中学校からの住高への進学率

年度	卒業生	住高進学人数	%
H13	90人	48人	53.33
H14	67人	25人	37.31
H15	82人	28人	34.15
H16	80人	29人	36.25

表3 - 近隣の市までの通学時間とその経費

八日町 世田米駅	行き先	公共交通機関	時間	1	2
				1カ月	1年間
遠野	釜石	住田交運	44分	25,200円	272,160円
		住田交運+JR釜石線	57分	25,160円	271,760円
大船渡	陸前高田	岩手県交通	24分	22,030円	166,970円
		岩手県交通	40分	22,370円	169,560円

1) 乗り継ぎや駅から学校までの徒歩の時間を含まない片道所要時間 2) 住田交運とJR釜石線は6ヵ月定期の2倍、岩手県交通は12ヵ月定期の往復料金

表4 - 下宿などの費用

	平均月額
遠野	57,000円
釜石	55,000円
大船渡	62,000円

NTT東日本「タウンページ」に掲載されている下宿からの聞き取り調査による。条件はそれぞれ異なる場合がある。陸前高田は掲載がなかった

八千円ほどかかります。いずれにしろ、通学する生徒本人はもちろんのこと、親にとつても経済的な負担は大きくなります。また、これまで住高生は町内の保育園や福祉施設などの行事などでボランティアとして活躍していましたが、これにも影響が出ると思われます。町にとつては、地域経済や地域の活力といった面で衰退することも懸念されます。



さまざまな行事で住高生のボランティアが活躍しています（写真は有任保育園・森の保育園の様子）

§ 3 これまでの動き

これまでの動きを左の表にまとめました。

平成16年	1・15	3・18	4・21	5・14	8・3	8・4	8・5	8・6	8・12	8・20	8・23
県立高校新整備計画後期マスタープランの公表	マスタープラン説明会（農林会館）	町と町教委から意見書を知事と県教育長に提出	意見を聞く会（釜石教育庁舎）で町長、教育長が県教育長と議論	意見を聞く会（大船渡合同庁舎）で町長、教育長が県教育長と議論	県教委が「県立高校新整備計画（後期計画案）」を公表	大船渡、陸前高田両市の市長と議会議員に中高一貫教育モデル校の設置について協力を要請	町内関係団体での対応打ち合わせ会	県統一要望で本町への中高一貫教育モデル校設置を別途提案	「住田高校の存続を求める会」（仮称）第一回発起人会	第二回発起人会	「県立住田高校の存続を求める町民集会」開催

§ 4 存続を求める町民集会を開催

会場はほぼ満席

八月二十三日、農林会館大ホールにおいて「県立住田高校の存続を求める町民集会」が開催されました。約六百人が詰めかけ、会場はほぼ満席状態になりました。



会場は多くの町民で埋め尽くされました

■ 小規模校だからこそ

はじめに、発起人を代表して鈴木正巳・県立住田高校教育振興会長から「昭和四十五年に独立した住田高校は、先人たちの並々ならぬ情熱と努力のたまもの。住田の財産である住高の存続に向け、皆さんと一致団結して、もう一度不可能を可能にするため頑張っていきたい」とあいさつがありました。

■ 経済効率だけの統合では

経過報告の後、集会の第一部に入り、住高と計画案について及川裕敏・住高PTA会長から問題提起されました。住高の現状と後期計画案とを比較し、統合が経済効率だけで決められるのでは、と指摘。参加者には署名だけでなく、メールなどで県教委に直接意見を伝えてほしい」とお願いしました。

■ 「存続を求める会」を設立

第三部では住高の存続に向けた体制と方針を協議しました。はじめに、多田町長が「住高

存続のためにも引き続き中高一貫教育校の設置実現に努めていく」とあいさつ。続いて、吉田昭彦県議会議員から「今日の皆さんの熱意をぜひ県に届けた」と、また千葉町議会議員からは「教育の機会均等を守るため住高の存続に努力する」と、それぞれあいさつがありました。この後、菅野義保さん、世田米駅を議長に選任し住高教育振興会長の鈴木正巳さんを会長とする「県立住田高校の存続を求める会」の設立と会の運動方針・行動計画について協議。それぞれ満場一致で決定しました。最後に佐藤忠美・住高同窓会理事が決意表明を読み上げ、満場の拍手でこれを確認し、集会は閉会となりました。

§ 5 今後の見通し

県教委では、公表した後期計画案に対しパブリックコメント（皆さんからの意見）を受け付けています。また、九月からは計画案の地域説明会も順次開催し、今年の十二月までに計画を決定する予定です。

今後は設立された「存続を求める会」で署名活動や地域説明会への参加呼びかけ、住高存続のための広報活動などを展開していきます。町民一丸となった運動になるよう、皆さんのご参加ご協力をお願いします。

◆問い合わせ先 県立住田高校 教育委員会

☎ 46 3863（直通）

インタビュー



泉田 浩喜 さん
世小PTA会長

住高がなくなれば親の経済的負担が増える。奨学金があるとはいえ、それはいずれ子どもたちが返さなければならぬお金、社会人をマイナスからスタートさせたくない。ぜひ住高を存続してほしい。



「地域の宝」住田高校の存続に向けて



林間学校で 夏の思い出を作る

大股地区振興協議会

大股地区振興協議会（紺野孝会長）と川口・大股子供育成会（紺野勇治会長）が主催する林間学校は、七月三十一日から八月一日までの二日間の日程で開催されました。地域の親子や住民など約五十人が参加。今回が四回目の開催になります。

一日目は午後二時から開校式を行い班を編成して夕べの集いの準備に取りかかりました。夕食は地元のイワタニケンポロー（楸東北農場（大橋喜一農場長）から提供された豚肉などでバーベキュー。その後、キャンプファイアーを行いました。迎え火では、五葉山火縄銃隊の鎧姿の武者が菅火長を務め、子どもたちに火を分けると一斉に点火。勢いよく燃え上がる炎を囲み、互いの親睦を深めました。この後、花火やアストロカーでの星空観察を行い、地区公民館で宿泊しました。

二日目は昨年度調査と周辺の整備を行った江刺街道を散策。遠藤重吉さん「下大股」と菊

おらだちの まちづくり情報

池和夫さん「金成」の案内でゆりあげ一里塚や大股与市の碑周辺を歩き、地域の歴史について理解を深めました。

「おらだちのまちづくり情報」では、町民の皆さんのまちづくり・地域づくりへの取り組みをお知らせしています。お問い合わせは、企画財政課地区振興室 ☎46-2114 まで

夏の写真撮影会

五葉地域づくり委員会

五葉地域づくり委員会（紺野寿美会長）の写真館部会では八月二十二日、昨年設置した四季の写真館に展示する「夏」の写真撮影会を実施しました。部会員ら八人が金の倉から上有住駅にかけて、それぞれ夏の風景をカメラに収めました。今後とも随時撮影を行い、写真館の充実を図っていく予定です。



撮影会の様子



熱心に作業する生徒たち

住民手作りの 掲示板が完成

下有住・月山地区

下有住の月山公民館向かいに地域住民の手作りによる掲示板が完成しました。

材料の木材は地元の製材所から提供されたもので、地元の中学生九人とお年寄り四人で設置しました。高さ約二メートル幅約一・五メートルで、地元学マップを掲示するほか、地域の行事などのお知らせに利用することです。

八月四日に設置し、五日にはこれに防腐剤を塗り名前を入れて完成。生徒たちはペンキで手を真っ黒にしながら熱心に作業作りならでの味わいたつぷりのもの。今後、地域の情報発信に活躍が期待されます。

祝 成人 未来を担う87人



大人の第一歩を踏み出した新成人の皆さん

八月十五日、町の成人式が農林会館大ホールで開催されました。新成人たちは責任と自覚を胸に、大人への第一歩を踏み出しました。

今年は今町内在住の十七人で「成人式実行委員会」（大村一幸会長）を組織し、新成人自らが式の内容を企画しました。

今年の新成人は八十七人（男五十人、女三十七人）で、式にはこのうち七十九人と招待者ら合わせて約百五十人が出席。一人ひとりが名前を読み上げられ紹介された後、新成人にお祝いの言葉が贈られました。

多田町長からは「大人の社会を生きていくことは生易しいこ

とではない。時には強い風に向かつて突き進むことも必要」と、激励のあいさつがありました。

これに対し、新成人を代表して小山剛さん「船作」と村上みゆきさん「川向」から「成人としての責任を感じ身の引き締まる思いです。自己研鑽に努め、平和とすべての地域の繁栄のため努力します」と答辞が述べられました。

会場は話し声一つなく、緊張感が漂う厳粛な中で式は進められました。



答辞を述べる小山さん（左）と村上さん

新成人に聞く

大苗 周太さん
（中上）



成人式を迎えるの感想は？
「やっと、大人の仲間入りをした」という気分です。これからどんな大人になりたいですか？
今はけんプレカットに勤務していますが、早く仕事に責任を持って取り組めるようになりたいです。

成人式を迎えるの感想は？
「やっと、大人の仲間入りをした」という気分です。これからどんな大人になりたいですか？
今はけんプレカットに勤務していますが、早く仕事に責任を持って取り組めるようになりたいです。

式終了後、記念撮影が終わると多目的ホールに場所を移し、「すみたを知る」と題し昼食会が開催されました。

昨年に引き続きの催しで、清流米や町内産の牛・豚・鶏の肉やキャベツがそれぞれの生産団体から無償提供され、これら食材の料理が振る舞われました。これには皆、「おいしい」と、次々とほおばっていました。

また、ここは式とは違って変わって若者パワーが炸裂。旧友との再会や記念撮影に、会場は大いに盛り上がりました。中でも、実行委員の栗原儀勝さん「高貝」と伊藤一洋さん「五合畑」による余興が披露され、二人の息の合った華麗なダンスに会場からは盛んな声援と拍手が送られました。

大人としての自覚と二十代の若さの両面を感じることでできる成人式でした。



「気持ちはまだまだ十代で〜す」



栗原さん（左）と伊藤さんのコンビ



成人を祝して「乾杯！」

広報すみた 平成16年8月25日（4）

森林認証 だより

広報すみた三月号でFSC森林認証の取得をお伝えしましたが、これから毎月、この森林認証について皆さんに紹介いたします。今回は「FSC森林認証」についてです。

FSC (Forest Stewardship Council) (森林管理協議会・非営利な国際団体) 森林認証は、世界的な森林の減少や劣化などの問題を背景として生まれた「適正な森林管理」を認証する制度です。

認証された森林の林産物でできた木材製品には、FSCのロゴマークがつき、消費者に対して認証された製品であることをわかりやすく伝えます。

認証された製品が市場に増え、購入が進むことにより、適正に管理される森林が守られ、森林の破壊や劣化を招くことなく木材消費が進むというシステムです。

アマタ協ホームページから引用



花火大会

今年も竹筒の募金に皆さんから317,768円ご協力いただき、400発の花火を打ち上げました

鳴瀬太鼓

『住田音頭』などの見事な演奏に会場からは大きな拍手が送られました



道中おどり

約460人の華麗な手踊りの列が観客を魅了しました



五葉山火縄銃鉄砲隊

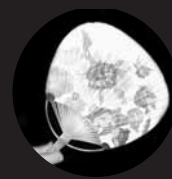
火縄銃から放たれた火柱とごう音は、澄んだ真夏の夜空を切り裂くかのようです



新調した半てんに身をまとい、勇壮な『よさこいソーラン』を披露
世田米中学校



今年が初参加。九人の女性による華麗な『よさこい』のステップ
月華蘭



住田の夜が熱く燃える

～住田町夏祭り～



今年の住田町夏祭りは8月7日、世田米商店街を舞台に開催されました。沿道には子どもからお年寄りまでたくさんのお客さんが詰めかけ、大いににぎわいました。



世田米小学校6年生

にぎやかな鼓笛の演奏がお祭りムードを盛り上げました



かわいらしい園児たちによる元気いっぱいのお遊戯『さくらんぼ』
世田米保育園



息の合った『よさこいソーラン』
世田米小学校4年生



道中おどりに参加したちびっ子たち



「こっちにも投げて～」餅まき・菓子まき大会



「何匹すくえたかな？」金魚すくい

住高に88人が体験入学



英語の体験学習ではゲームなども交えた楽しい授業

七月二十九日、来年度高校入
学希望の中学生を対象とした住
田高校の一日体験入学が行われ
ました。
この日は八十八人（世中三十
一人、有中十七人、町外四十人）
が参加。開校式と住高について
紹介が終わると、家庭・情報処
理・英語・社会の四つの教室に
分かれ、それぞれ高校の授業を
体験しました。
アンケート記入で日程は終了。
その後グラウンドや体育館で部活
動を見学し、先輩からすでに勧
誘を受ける姿も多く見受けられ
ました。
この日参加した佐々木成美
さん（有中三年）と水野里美さ
ん（同）は「先輩たちがとても
親しみやすく、いい雰囲気の方
校。ますます入りたくなりまし
た」と、住高の雰囲気を肌で感
じ感激した様子でした。
アンケートの結果からも「い
きいきとしている」「元気があ
る」「学校一丸となっている」「入
学したくなった」という感想が
多く、住高の評判は上々でした。

住高吹奏楽部が生演奏



住高生の熱心な演奏に観客も聞き入る

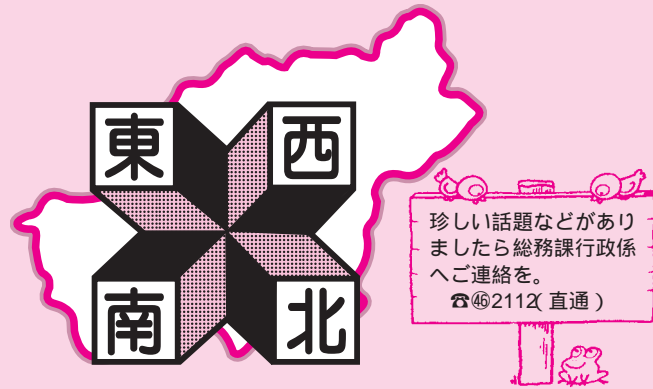
八月六日、住田高校吹奏楽部
の十八人がアンルスでコンサ
ートを開きました。
今回が初めての開催で、「ボラ
ンティア活動もしたい」という
部員からの声がかきつかけで実現
したのも。
アンルスの利用者ら約四十人
の観客が見守る中、途中楽器の
紹介を交えながら全六曲を披露
しました。
夏らしい『海』からはじまり、
『大きな栗の木の下で』では、一
年生部員三人の手に合わせ観
客も一緒に振りをつけました。
『少年時代』や、夕焼け小焼け』で
は情緒あふれる演奏を披露。最
後は美空ひばりさんの『川の流れ
のように』で締め、観客は終
始、生の演奏に聞き惚れ、演奏
が終わると盛んな拍手を送りま
した。
部長の紺野奈保美さんは「私
たちの演奏が終わると笑顔を見
せてくれて、とても楽しかった
です」と満足そうな表情。今後
すみた荘での演奏も予定してい
るそうです。

企業ぐるみで献血推進

献血推進に協力した団体と
して、(株)リック住田工場（平
沢義和工場長）に県と日本赤
十字社岩手県支部（支部長・
増田寛也県知事）から感謝状
が贈られました。十六年間に
わたり献血者の確保に貢献し
このたび気仙管内で同工場が
選ばれたもの。七月三十日に
贈呈式が行われ、自身も七十
回を超える献血経験がある平
沢工場長に感謝状と記念品が
手渡されました。



感謝状を受ける平沢工場長（左）



珍しい話題などがあり
ましたら総務課行政係
へご連絡を。
☎2112(直通)

施設を慰問し 歌声披露

八月十六日、本町出身で福島
県在住の歌手・佐々木はるおさ
んが、すみた荘とアンルスを慰
問し、歌声を披露しました。
佐々木さんは会社勤めの傍ら
歌手として活動し、この日はお
盆の帰省を利用して二施設を訪
問しました。
このうちすみた荘では、持ち
歌の替え歌『ふるさとのすみた
荘』を入所者と一緒に歌うなど、
ブコの歌声七曲を披露。
歌い終わると花束が贈られ、
佐々木さんは笑顔で「また来ま
す」と再来を約束していました。



すみた荘の入所者を前に熱唱する佐々木さん

お魚さん 逃げないでよ



さあ、上手に捕まえられるかな？

愛宕公民館（金里征治館長）
では、八月十五日に「ちびっ
こ川祭り」を開催しました。
これは三十年以上続く恒例
行事で、毎年お盆のこの日に
行われています。
朝六時から地域のお父さん
たちが昭和橋近くの川辺にい
けすを作り約四百匹の魚を放
流すると、地域の親子連れや
お年寄り、帰省中の子どもた
ちなど約二百人が集合。
小学六年生までの子どもた
ち約三十人が小さい順にタモ
を持って、制限時間内に何匹
捕まえられるかを競いました。
次々とすくい上げる子から
なかなか捕まらず悪戦苦闘す
る子まで、実力はさまざま。
それでもこの日は猛暑という
こともあり、皆冷たい川の水
に歓声を上げながら魚を追い
かけ、周りではお年寄りがそ
の姿に目を細めていました。
終了が告げられると、子ど
もたちは捕まえた魚を手に笑
顔で帰宅しました。
金里館長は「地域の人も帰
省する人も楽しみにしている
行事だけに、これからもずつ
と続けていきたい」と語って
いました。

住田町役場「温暖化対策」の結果

役場では平成15年度から、温室効果ガスの一つである二酸化炭素の削減に取り組んでいます。1年間の取り組みの結果がまとまりましたので、お知らせします。

項目	削減目標	実績	評価
ガソリン	6%	4.1% 減	
灯油	6%	35.9% 減	
軽油	6%	18.9% 減	
A重油	6%	5.4% 増	×
液化石油ガス(LPG)	6%	27.7% 増	×
電気	6%	15.0% 増	×

平成12年度と比較して

この実績から、二酸化炭素の排出量を計算すると、平成12年度に比べ、**5.35%削減**したことになります。

これは、灯油使用量の削減が最も大きな原因になっています。ペレットストーブなど新エネルギーの導入効果の表れともいえます。

一方、液化石油ガスや電気の使用量はそれぞれ増加していますが、これは新しい施設の建設やパソコンの数が増えているためと思われます。

1年目で、目標とほぼ同程度の削減を果たすことができました。ちょっとしたことが温暖化防止につながります。皆さんのご家庭でも、環境に優しい暮らしをしてみませんか？

◆問い合わせ先 町民生活課住民環境係
☎46 2113(直通)

2004 すみたスポレク祭



昨年の様子
(写真はキンボール)

【日時】 9月12日(日) 9:00~12:20
【会場】 社会体育館・運動公園・河川敷公園
【種目】
(協会主催) グラウンドゴルフ・ゲートボール
(ニュースポーツ) キンボール・スポーツチャンバラ・ドッチビー
参加希望の方は事前に申し込みをお願いします
【申し込み・問い合わせ先】
教育委員会生涯学習係 ☎46 3863(直通)

秋の農作業安全月間

9/15~11/15

『農作業 ヒヤリ!ハッ!とは 危険のシグナル 一声かけて事故防止』

農作業事故防止のポイント

- 1 農業機械の点検・整備の際には、必ずエンジンを停止する
- 2 家族がエンジンの停止法を覚えておく
- 3 暗くなっても自動車から見やすいように夜行反射材を活用する

中央公民館図書室 からのお知らせ

9月の「本の読み聞かせ会」は・・・

9月18日(土) 10:30~ です
お気軽にご参加ください

◆問い合わせ先 中央公民館図書室
☎46 2111(内線333)



『図解でわかる現代のしくみ 2003-2004』

現代用語検定協会・監修
「自由国民」事典編集部・編
ニュースなどで耳にする時事用語をわかりやすく解説。身近になった「DVD」から国際情勢まで幅広く網羅しています。

新刊図書のご案内

『なかよしおばけとちびちびおばけ』
ジャック・デュケノワ さく
おおさわ あきら やく



なかよしおばけ4人組がみんなでごちそうづくりしていると、ごみ箱の中から小さなおばけが出てきて……。人気シリーズの楽しい絵本が4冊入荷しました。



『平成十六年度 代表作時代小説』

日本文藝家協会編

歴史・時代小説の中から厳選された18篇を収録。巨匠はもちろん、新進気鋭の作家の作品も収められた充実の一冊です。

スポーツコーナー

有中・高橋(佑)が東北制覇

◆東北中学校体育大会(七月三十一日~八月十二日)

【男子】
共通四百メートル 高橋佑輔(有住)51秒36

アンルス坂本が優勝

◆第二十四回町交通安全ゲートボール大会(八月五日、町運動公園)
アンルス坂本3勝 小股清寿会2勝1敗 東峰2勝1敗 曙2勝1敗 敢闘賞) 吉田寅一郎(月山、個人賞) 鶴賞)



ゲートボールの熱戦

星流クラブ・世田米スポ少が優勝
◆第十八回町バレーボールフェスティバル(七月三十一日~八月一日、生涯スポーツセンター)
【小学生の部】 ベストの部 優勝 世田米バレースポ少 準優勝 カリンス 第三位 上有住

スポ少、下有住なるせスポ少女子 個人賞 横沢果紀(世田米) 沖館祐佳(カリンス) 松田美幸(上有住) 水野菜実なるせ女子(佐藤大地(なるせ男子)) ジュニアの部 優勝 世田米バレースポ少 準優勝 下有住なるせスポ少男子 第三位 上有住スポ少、カリンス(土淵) 個人賞 菅野寿菜(世田米) 岩淵準也(なるせ男子) 水野雅美(上有住) 荒川華寿枝(カリンス) 菅野真子(なるせ女子) 【オープンの部】 優勝 星流クラブ 準優勝 44馬力 第三位 MERO・S、ダンシャク 個人賞 MVP 菅野恵

一日警察署長の大役果たす

がんばっています

紺野

真寿美さん(中沢・20歳)



「警察の制服を着ることができてよかった」と笑顔で語るのは、八月十一日に一日大船渡警察署長を務めた紺野真寿美さんです。この日は一日署長の辞令を交付された後、書類の模範決裁などのデスクワークをこなし、パトカーで町内を巡回、企業を訪問し夏場の交通安全をお願いしたほか、小府金のAコープすみた店前では街頭指導も行いました。紺野さんは自動車免許を取得して三年目、パトカーには初めて乗りました」という言葉どおり、これまで無事故無違反で安全運転に努めているそうです。「今日の経験を忘れることなく、これからも交通安全に努めます」と、気持ちを新たにしている様子でした。

県内の強豪チームが集う

◆少年野球二部(中学) 新人戦町大会(八月二十一日、町運動公園) 有住中
世田米中
100 0100 02
300 0000 06



白熱した試合展開

有住中が接戦を制する

◆少年野球二部(中学) 新人戦町大会(八月二十一日、町運動公園)

第十六回県小学生バレーボール選抜選手権大会は八月二十一日から二日間、下有住生涯スポーツセンターなど町内三会場で開催されました。本町での開催は六年連続の七回目。県内から男子十三チーム、女子十八チームが集まり、それぞれ熱戦を繰り広げました。開会式では主催者のあいさつや多田町長、町バレーボール協会・高橋弘紀会長などからの激励の言葉に続き、下有住なるせスポ少(男子)の佐藤未来主将と上有住スポ少の洪佐円花主将が、「日ごろの練習の成果を十分に発揮しま



開会式で選手宣誓する佐藤未来主将(左)と洪佐円花主将

と元気に選手宣誓しました。本町からは男子一チームと女子三チームが参加。このうち世田米バレースポ少が予選リーグを突破しましたが、二次予選で惜しくも敗退しました。試合結果は次のとおり。(本町のチームのみ)
【男子】 予選リーグ
・cブロック
下有住 0 2 佐倉河水沢
下有住 0 2 煙山(矢巾)
【女子】 予選リーグ
・aブロック
下有住 0 2 猪川(大船渡)
下有住 0 2 下長山(雲石)
dブロック
上有住 0 2 小友町(陸前高田)
上有住 0 2 大新(盛岡)
eブロック
世田米 2 0 煙山
世田米 2 0 門(岩泉)
二次予選リーグ
・Bブロック
世田米 0 2 大新
世田米 0 2 米崎(陸前高田)

9月の暮らしに役立つ

カレンダー

町民の動き ()内は前月比
平成16年7月末日現在

人口 7,073人 (-3)
男 3,389人 (-4)
女 3,684人 (+1)
世帯数 2,231世帯(-1)

日	月	火	水	木	金	土
【9月9日は救急の日】 救急車が到着するまでの、あなたの 応急手当が尊い命を救います 「救急医療週間」 9月5日(日)~11日(土) 住田分署では救急講習会の開催申し込み を随時受け付けています ◆問い合わせ先 住田分署 ☎46 2119			1 (大安)	2 (赤口)	3 (先勝)	4 (友引)
5 (先負)	6 (仏滅)	7 (大安)	8 (赤口)	9 (先勝)	10 (友引)	11 (先負)
県OB軟式野球 大会町大会 ㊟	二種混合予防接 種(世小)13:30 ~	食生活改善推進 員養成講座 9:30~ ㊟	二種混合予防接 種(下小・上小) 13:30~ 手芸教室(有住) 13:30~ ㊟	歯っぴい会 13:00~ ㊟	1才6ヵ月児・ 3才児健診 13:00~ ㊟	第14回町長杯 ゲートボール大会 9:30~ ㊟ 手芸教室(世田米) 13:30~ ㊟
12 (仏滅)	13 (大安)	14 (友引)	15 (先負)	16 (仏滅)	17 (大安)	18 (赤口)
すみたスポレク祭 9:00~ ㊟など			有保かぜっこ広 場 リハビリ教室 10:00~ ㊟			
19 (先勝)	20 (友引)	21 (先負)	22 (仏滅)	23 (大安)	24 (赤口)	25 (先勝)
町長杯争奪ゴル フ大会 すみた荘敬老会			ポリオ予防接種 13:30~ ㊟ 手芸教室(有住) 13:30~ ㊟ 住高地域文化選 択講座		デイケア 10:00~ ㊟	手芸教室(世田米) 13:30~ ㊟ 気仙地区中学校 新人体育大会 (~27日) 世保・運動会
26 (友引)	27 (先負)	28 (仏滅)	29 (大安)	30 (赤口)		
		食生活改善推進 員養成講座 9:30~ ㊟	薬の健康教室 (上有住高齢者) 13:30~ ㊟	このページの写真は 八月十一日に開催された 「すみた荘夏祭り」の様子です		

日時は都合により変更になる場合があります。

㊟=保健福祉センター ㊟=運動公園 ㊟=上有住地区公民館 ㊟=上有住集会所

お知らせ おねがい

個人事業税第1期分 納期限は8月31日

お手元の納税通知書で忘れずに
納めましょう。第2期分の納付書
は11月中旬にお送りします。
◆問い合わせ先 大船渡地方振興
局総務部税務室 ☎27 9912

保険料納付相談会

一関社会保険事務所では国民年
金の保険料納付相談会を次のとお
り行います。
◆期日 9月13日(月)
◆会場と時間

会場	時間
上有住地区公民館	10:30~12:00
下有住基幹集落セ ンター	14:00~15:30
農林会館	16:00~18:00

◆問い合わせ先 町民生活課住
環境係 ☎46 2113(直通)

燃えるごみの 収集のお知らせ

9月20日(月)と23日(木)は祝日
ですが、燃えるごみの収集が月・
木曜日の地域は次のとおり収集し
ます。

20日(月)は、休みます
23日(木)は、収集を行います
◆問い合わせ先 大船渡地区ク
リーンセンター ☎26 4739

振興局土木部の事業に ご理解・ご協力を

大船渡地方振興局土木部が実施
している本年度の主な事業を紹介
します。(今回は道路以外の事業)

◆急傾斜地崩壊対策事業
大崎地区において、民家など
を土砂災害から守るため、斜面
が崩れないようにする工事を、
11月頃まで行います。

◆公共下水道整備事業
世田米浄化センターの汚泥を
適正に処理するため、汚泥脱水
装置を設置します。本年度内の
完成予定です。

◆問い合わせ先 大船渡地方振興
局土木部 ☎27 9919

母子家庭等就業・自立 支援セミナー参加者募集

(社)県母子寡婦福祉協会では、就
労に役立つヒント、福祉施策情報
を提供して、あなたの暮らしを応
援します。

◆日時
9月26日(日) 13:00~16:00
◆場所 大船渡市総合福祉セン
ター(託児所有)
◆対象 母子家庭の母・寡婦、父
子家庭の父、その他
◆申込期間 9月17日(金)まで
◆申し込み・問い合わせ先
保健福祉課福祉係 ☎46 3862

再就職に備えるセミナー 参加者募集

◆日時
10月5日(火) 13:00~15:30
6日(水) 9:30~12:00
◆場所 大船渡市働く婦人の家
◆内容 「ビジネスマナーの基
礎」ほか
◆締め切り 9月28日(火)
◆申し込み・問い合わせ先
(財)21世紀職業財団岩手事務所
☎019 653 8681

女性巡回相談と DV出前講座

県福祉総合相談センターでは次
のとおり講座と相談を行います。
◆日時 9月15日(水)
DV講座 13:00~14:30
巡回相談 13:00~15:30
◆会場 大船渡地区合同庁舎
◆問い合わせ先 保健福祉課福祉
係 ☎46 3862(直通)

県医療審議会の 委員を募集します

◆業務内容 審議会に出席し、医
療を提供する体制の確保に関す
ることや医療施策に関して意見
を述べ審議することです
◆応募できる方 県内に住所を
有する満20歳以上の方(公務員、
保健・医療・福祉に就業している

方を除く)盛岡市で開催する
審議会に、年1回から数回程度
出席できる方
◆問い合わせ先 県保健福祉部医
療国保課 ☎019 629 5427

再就職準備のための 看護力再開発講習会

◆日時
10月14日(木)~28日(木)のうち
5日間 9:00~16:00
◆場所 講義:県民会館 実習:
県立中央病院など3カ所
◆対象 看護職の有資格者で今
後就職を希望している方
◆定員・受講料 30人・無料(交通
費などは個人負担)
◆内容 最近の医療・看護業
務について 看護職員に必要な
検査・薬の種類など
◆申し込み・問い合わせ先
(社)県看護協会☎019 663 5206

盛岡駅西口複合施設の 名称を募集します

県では、平成18年開館予定の盛
岡駅西口複合施設の名称を募集し
ます。
◆応募方法 ハガキなどに施設の
名称・作品の説明・住所・氏名・年
齢・電話番号を明記のうえ、応募
してください。

◆募集期間 9月1日~30日
◆賞品 最優秀賞10万円相当・
優秀賞2万円相当の旅行券ほか
◆応募・問い合わせ先 県庁複合
施設整備課 ☎019 629 5216

コイヘルペス病に ご注意ください

池や川などでコイにへい死や異
常が見られた場合は、役場産業
振興課(☎46 3861)までお知
らせください。
コイを川などに放したり捨てたり
することが制限されています
ので、ご注意ください。
病気や制限に関しては、県庁水
産振興課(☎019 629 5818)
までお問い合わせください。

工事などの入札結果

工事名など()内は工事場所など	契約額	契約業者
学校給食共同調理場改築工事監 理委託	2,887,500	(有)池田菅野建築設計 事務所
平成16年度住田町公共下水道舗装 本復旧工事	26,250,000	(株)明和土木
平成16年度交通安全施設設置工事	945,000	佐々幸建設
町道松山線局部改良工事	945,000	(有)藤井組